

景観まちづくり 市民ワークショップ通信

第 3 号
編集・発行：伊勢原市
都市部都市総務課
平成 23 年 8 月 26 日

高部屋・比々多地区 まち歩き

総勢二十名参加

平成23年度 景観市民ワークショップ 地区別ワークショップ開催

平成二十三年度の景観市民ワークショップ活動として、比々多地区のまち歩きが八月二日(火)に実施されました。当日は、夏の日差しも強く、気温も高い中、産業能率大学齊藤進教授をはじめ、多くのワークショップメンバーが参加しました。また、ワークショップメンバー以外にも、塔の山周辺地域の土地利用を研究している伊勢原市西部土地利用研究会の方々も参加していただきました。なお、市は文化財課、都市整備課、都市総務課の職員が参加しました。当日の行程は午前九時に三ノ宮比々多神社を出発し、埴面古墳、三ノ宮比々多神社跡、齋藤家、伯母様地区、三ノ宮配水池、竹ノ内集落、浄業寺跡、



三ノ宮比々多神社から出発です

能満寺と歩いた後、三ノ宮比々多神社参集殿にて、参加者の方から活発な御意見をいただき、約三時間半のまち歩きを無事終了いたしました。(第二面に地図を掲載しています)

意見交換

まち歩き終了後、みなさんから今回のまち歩きを通じて感じた比々多地区の景観まちづくりについて、お話を伺いました。

◎比々多地区に今も残る史跡をこの地区の景観資源として生かしていけると良いと思います。

◎まち歩きでは、ポイントごとにわかりやすい説明があったおかげで、より深く比々多地区を知ることができたとともに、景観資源の大切さを感じることができました。

◎畑や棚田が広がる風景は、もの懐かしさを感じ、心落ち着くとても素晴らしい景観でした。この景観を生かしていけるような景観まちづくりが進められればよいと思います。また、農地として利用しない時期にはその土地を有効利用し、景観作物を栽培するようなこと(花畑等)も良いのではな

いかと思いました。

◎様々な角度からまちを見直すと今まで気付かなかったまちの魅力などが見えてくると思います。是非この伊勢原の良さをたくさんの人たちに知ってもらえるように、景観まちづくりの取り組みの中で、市役所の各部署が協力して景観まちづくりをピールールできるような機会を作っていただけると良いと思います。また、そうすることによって、より良い景観計画ができるのではないかと思います。

講評(齊藤教授より)

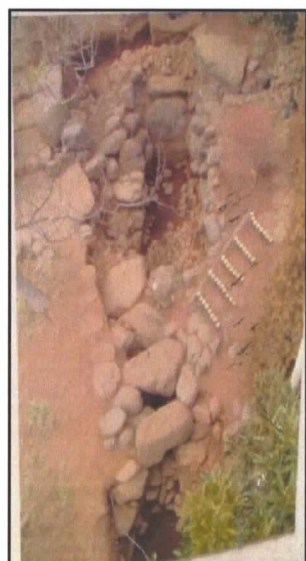
今回の比々多地区のまち歩きで、今まで気付かなかった皆さんの景観資源を発見することができました。そして、その数の多さに皆さんも驚かれたことと思います。景観まちづくりは、自分自身でそのまちをよく知り、よく理解することがとても重要なことであると考えています。この地区は二四六バイパス等の建設により、その姿は大きく変化していくこととなるでしょう。この時代の変化の中でも、今回見て知った、皆さんの景観資源を後生に引き継げるような仕組みを作っていくかなければいけないと思います。



メンバーによる意見交換

今後も多くの伊勢原らしさを発見していくと思います。是非多くの人に、見て知ってもらうようにしましょう。そうすることによって、より良い伊勢原の景観形成ができると思います。

らちめんこふん 埴面古墳



惠泉女学園園芸短 市の久野十五号墳の二箇所だ大建設の際発見さ けという基調なものです。このれました。墳丘はな 古墳は、当時の相模川流域の大くなっています。住 住郡・愛甲郡・高座郡を支配し石室がきれいに露 っていた相武国造という方のお出し、多くの装飾品 墓だそうです。も出土しました。石 ここは、惠泉女学園の所有地室を上から見られ に位置しており、一般には公開るの、相模地域で していません。この古墳と小田原

編集後記

今回のまち歩きで、皆さんの景観資源を見て、知ることができ、比々多地区の魅力を感じることができました。この景観資源を守りました。この景観資源を守り、生かし、結びつけながら、比々多地区の魅力あるまちづくりにつなげていけるような仕組みを景観計画としてまとめていきたいと思

次回のまち歩きは
大山グループの

「阿夫利神社・秋季例大祭 おくだい見学」

です

古の便りを感じてみよう、そこから観えるものは

浄業寺跡

大山道標

配水池からの眺望

配水池

消防署西分署

みかん畑から市街地を見る

みかん畑から山里を見る

三ノ宮比々多神社跡

畑

棚田

伯母様村観音

壺面古墳

恵泉学園短期大学跡地

斉藤家

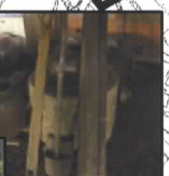
用水路

スタート

ゴール

三ノ宮比々多神社

大山道標付近から見る浄業寺全景



-➡ 往路
- - - ➡ 復路
- ➡ 視点と眺望の方向
- 景観ポイント
- ★ 主な建物